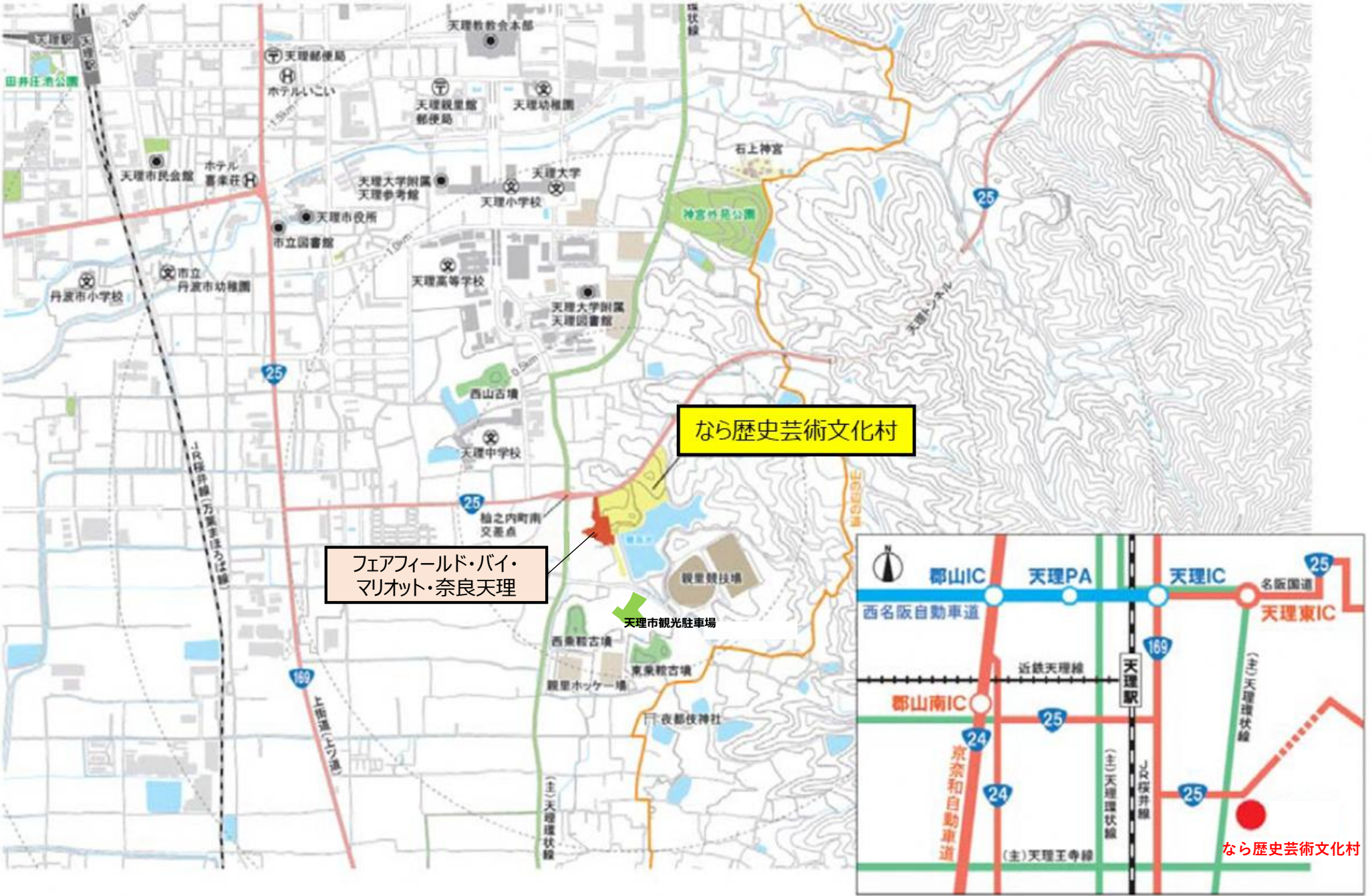
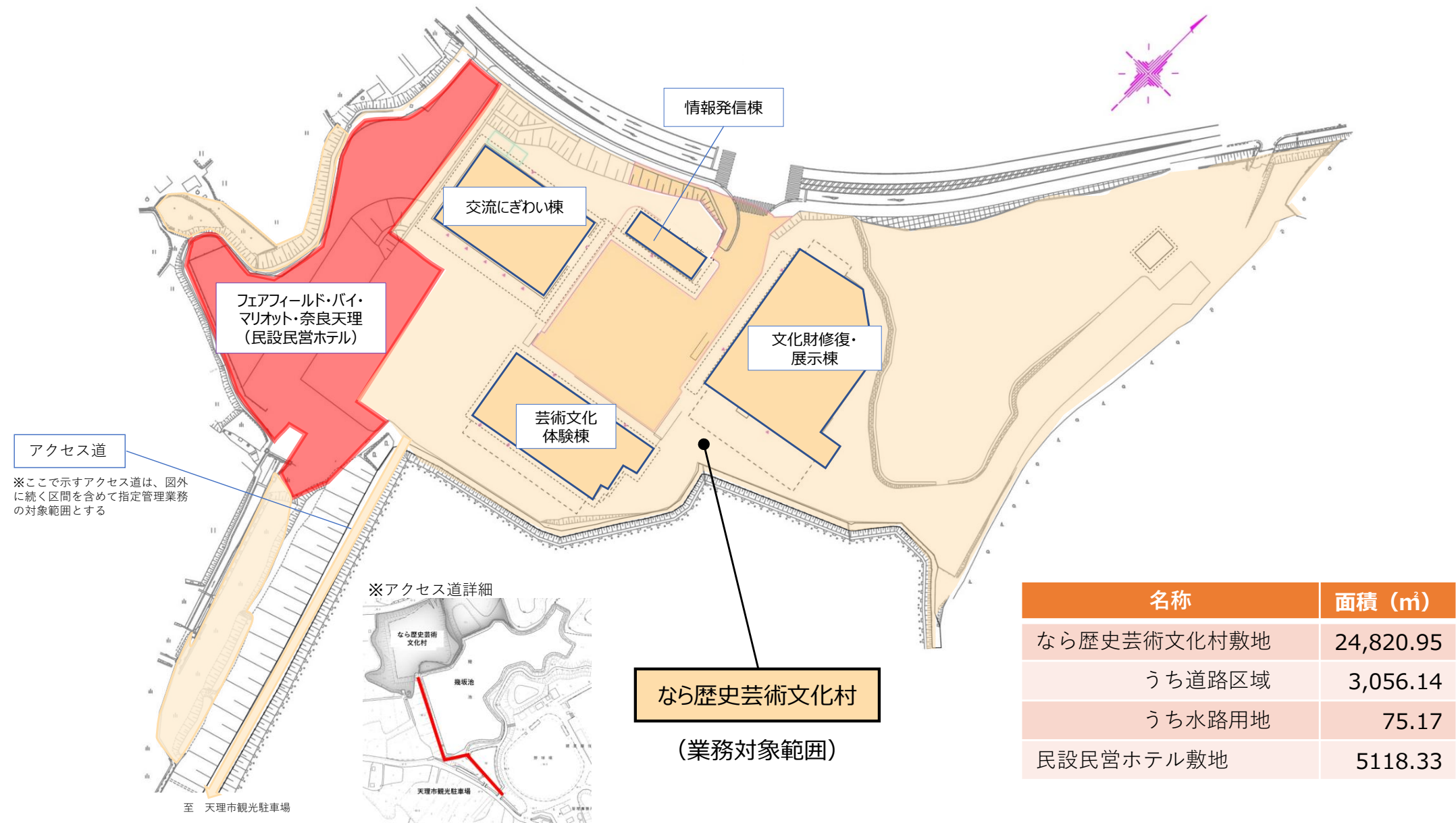




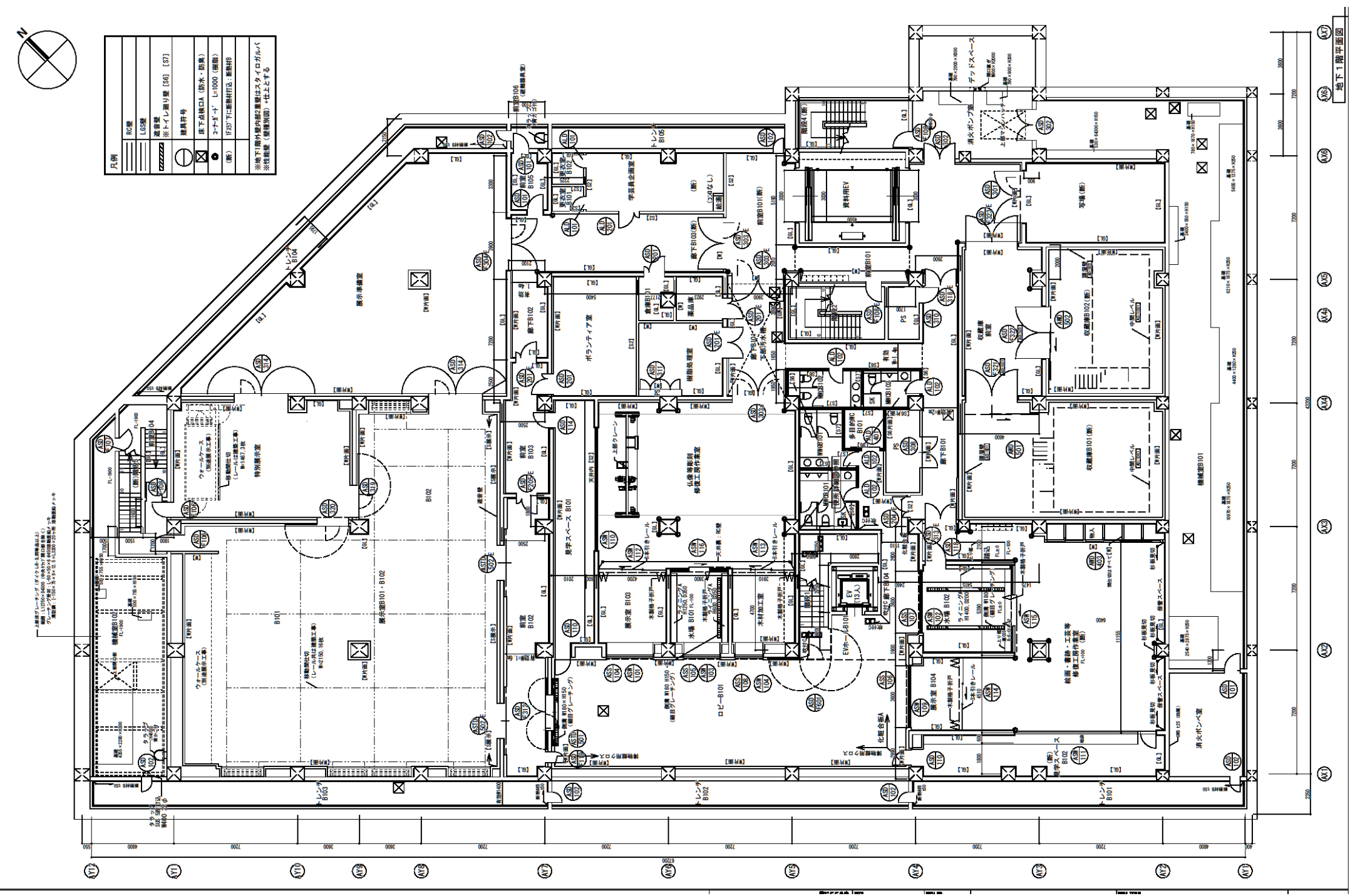
・名阪国道天理東ICより約3km
・郡山IC、郡山南ICより約5km

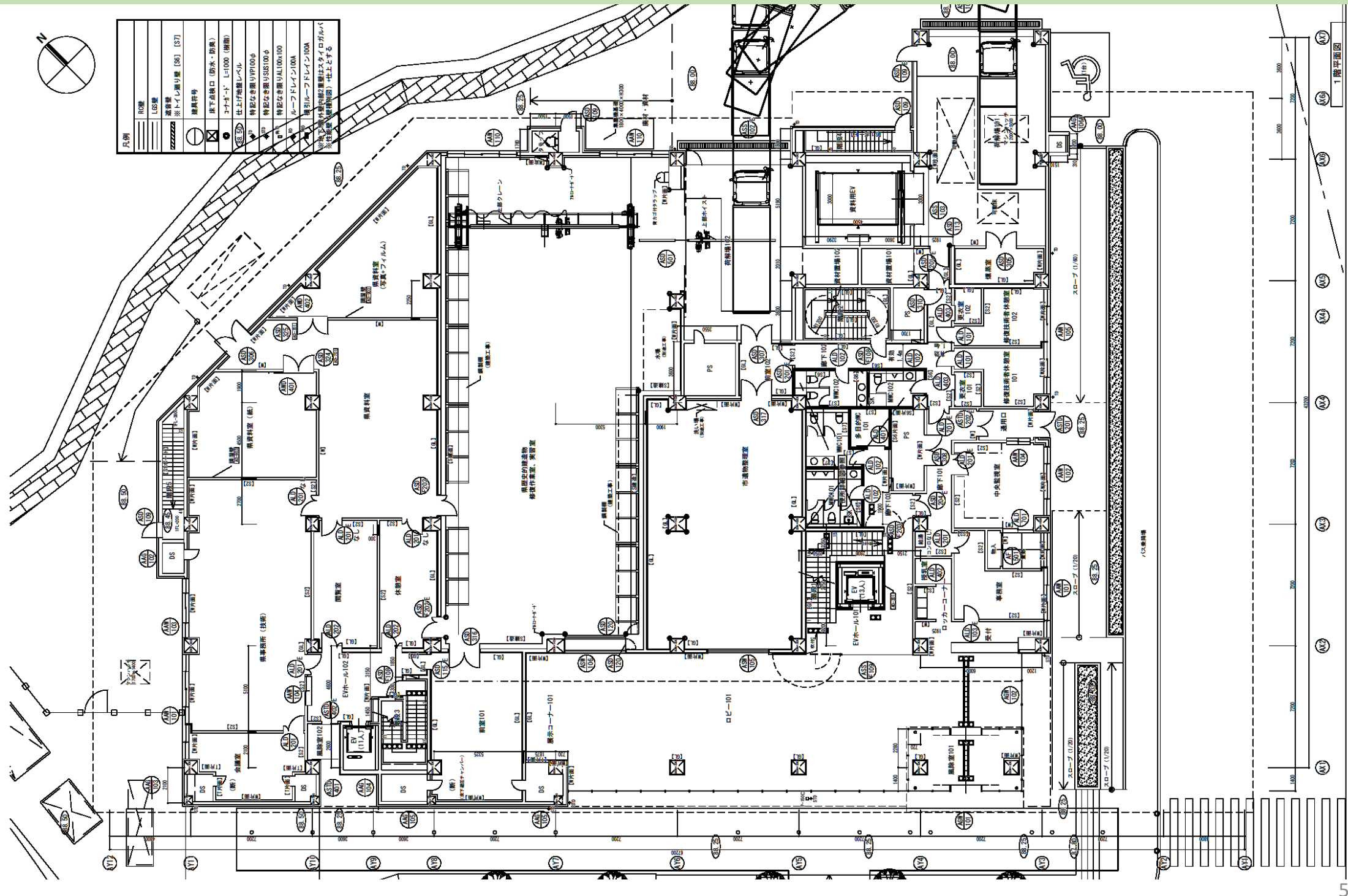
■位置図・平面図 (2)全体平面図

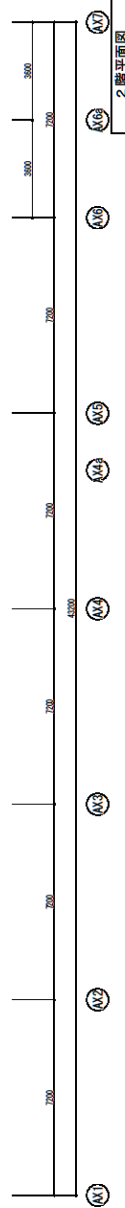
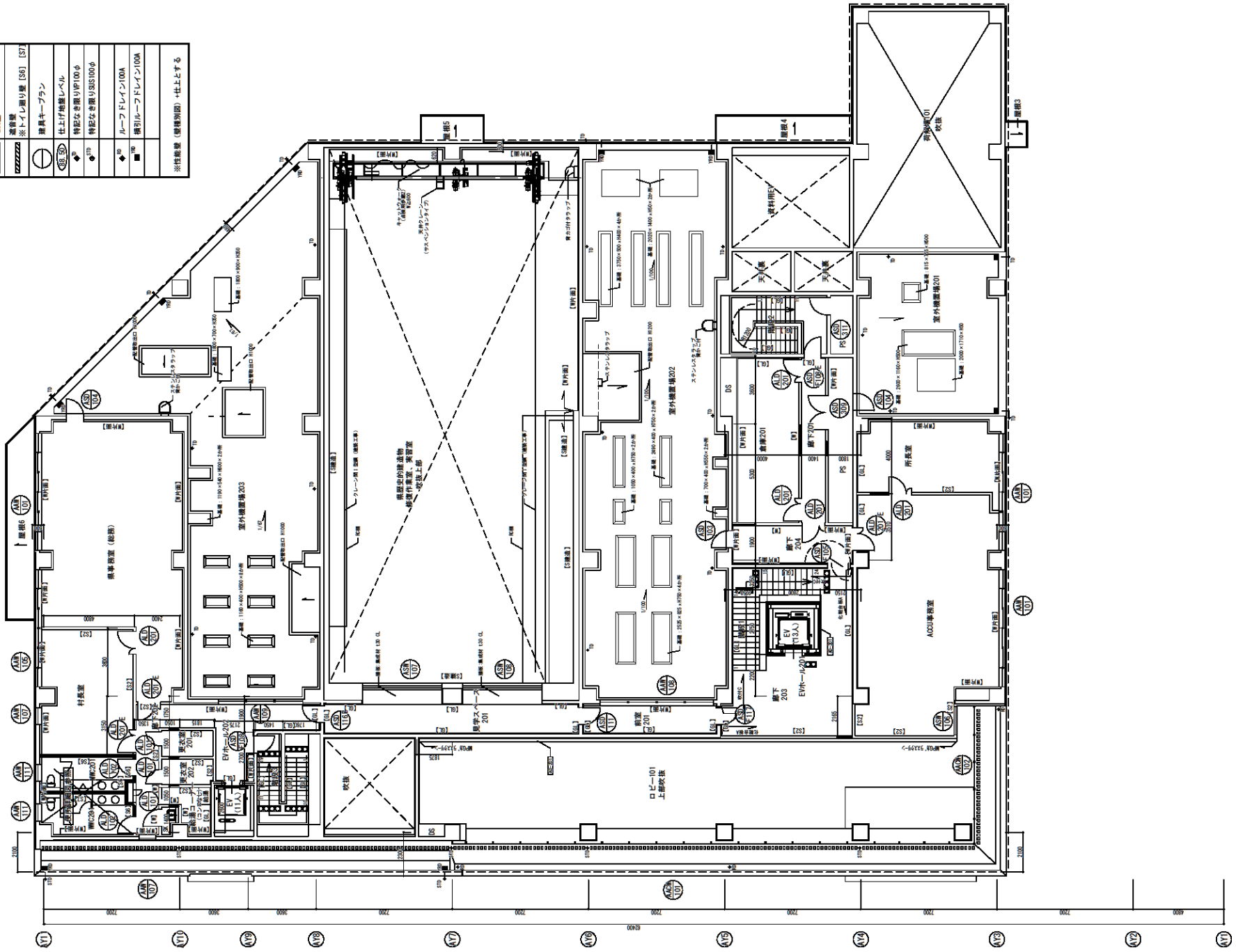
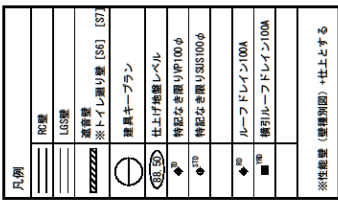


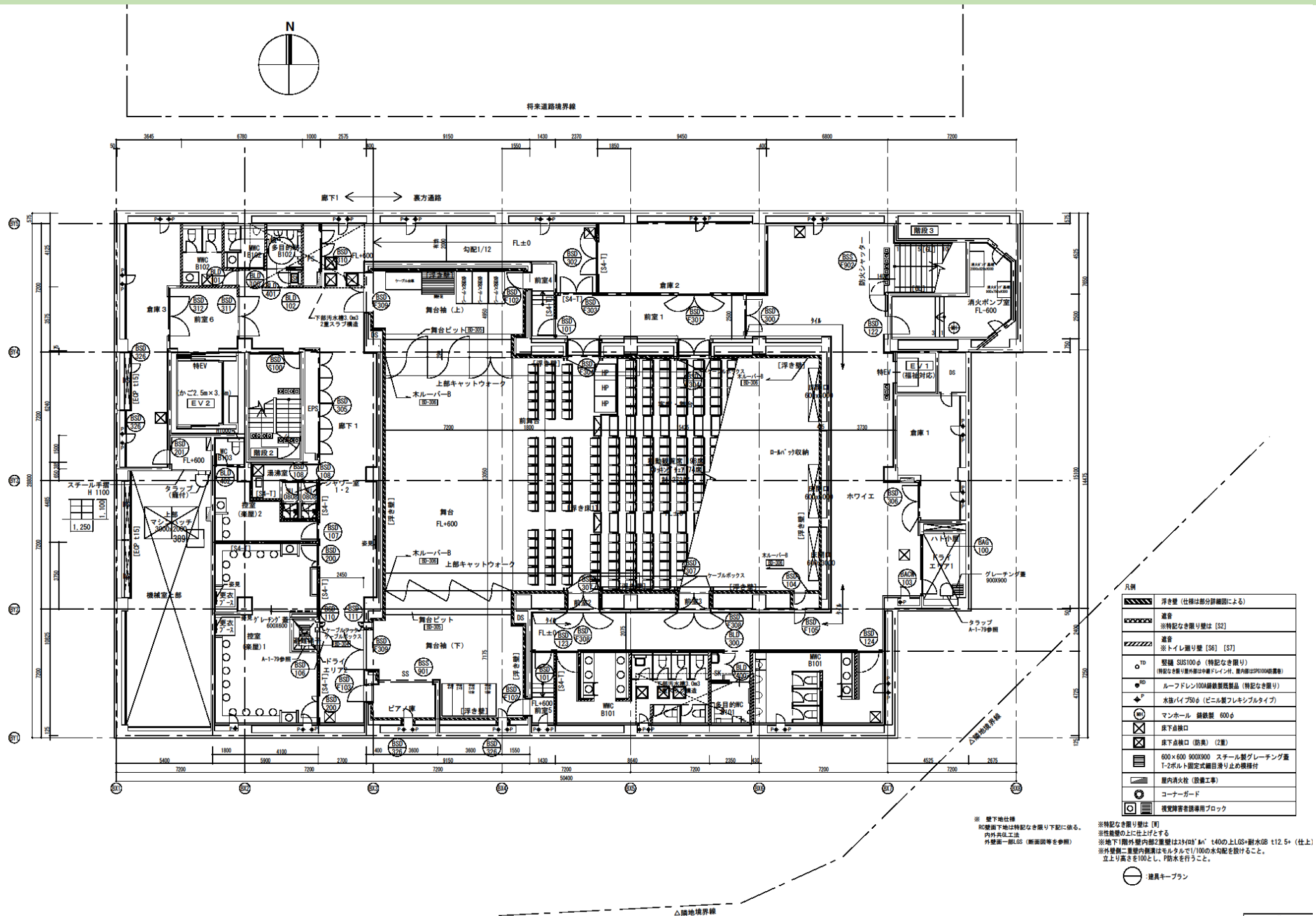
■位置図・平面図 (3) 駐車場平面図











凡例

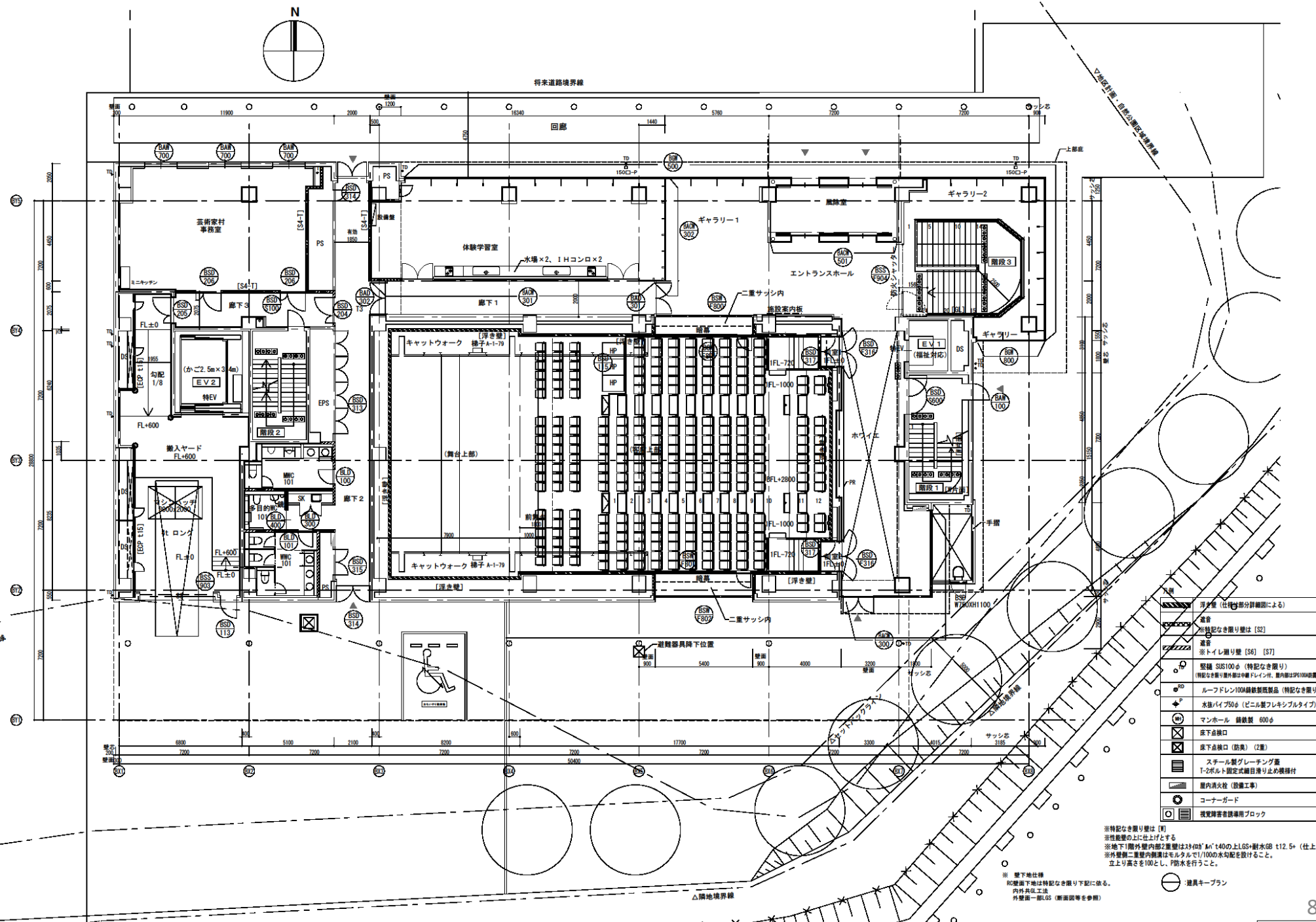
	浮き壁 (仕様は部分詳細図による)
	遮音
	※特記なき限り壁は [S2]
	遮音
	※特記なき限り壁は [S6] [S7]
	堅床 SUS100φ (特記なき限り)
	(特記なき限り排水部は排水ドレン付、室内部は排水部は排水部)
	ルーフドレン100A線状排水製品 (特記なき限り)
	水抜パイプ75φ (ビニル製フレキシブルタイプ)
	マンホール 鉄製 600φ
	床下点検口
	床下点検口 (防臭) (2重)
	600×600 9000900 スチール製グレーティング蓋
	T-2ボルト固定式網目滑り止め模様付
	屋内消火栓 (設備工事)
	コーナガード
	視覚障害者誘導用ブロック

※ 壁下地仕様
R2壁面下地は特記なき限り下記に依る。
内外共R2工法
外壁面一部R2S (断面図等を参照)

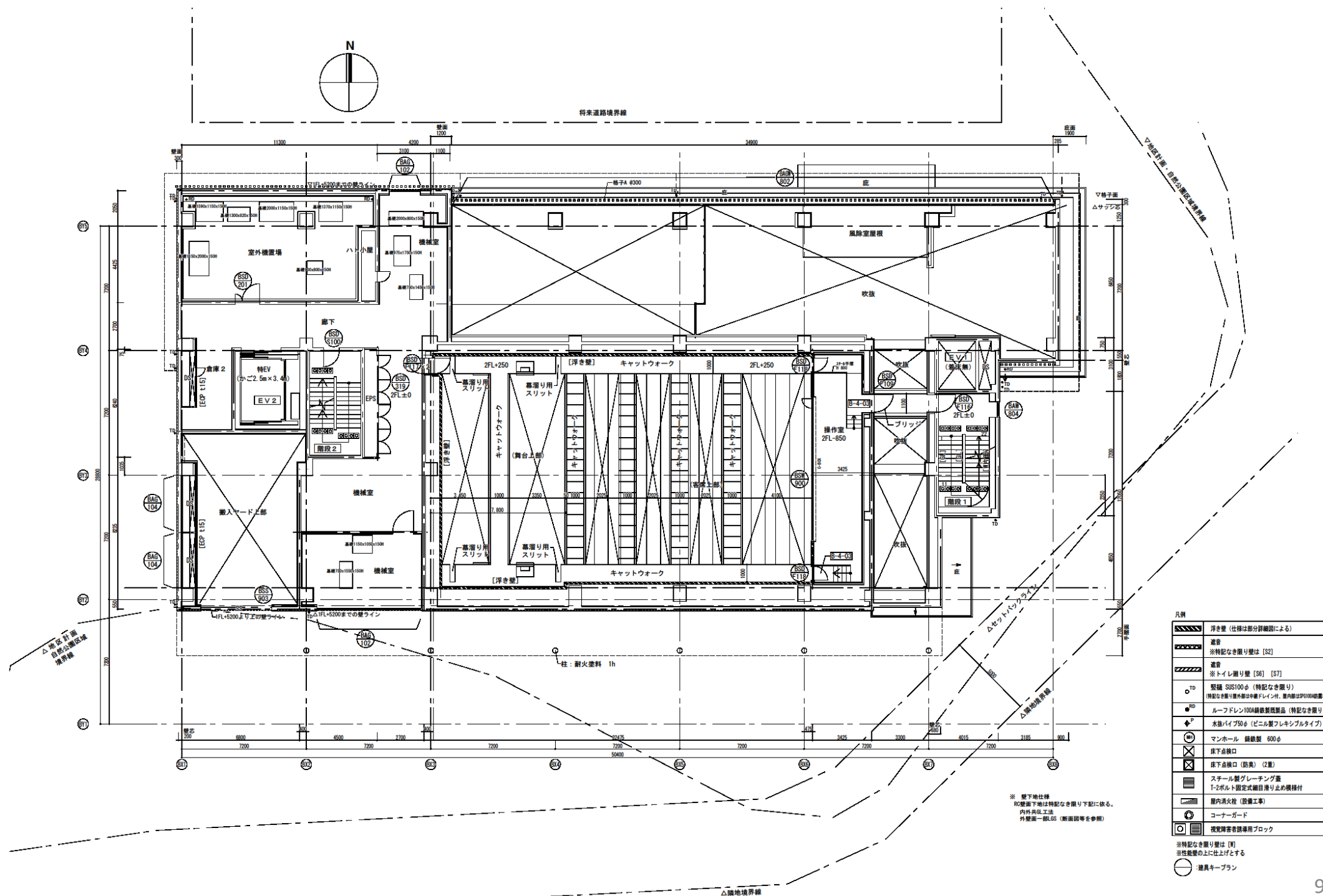
※特記なき限り壁は [R]
※性能壁の上に仕上げとする
※地下1階外壁内部2重壁は3φ40×40のLGS+耐水GB t12.5+ (仕上)
※外壁側2重壁内側はモルタルで1/100の水勾配を設けること。
※より高さを100とし、P防水を行うこと。

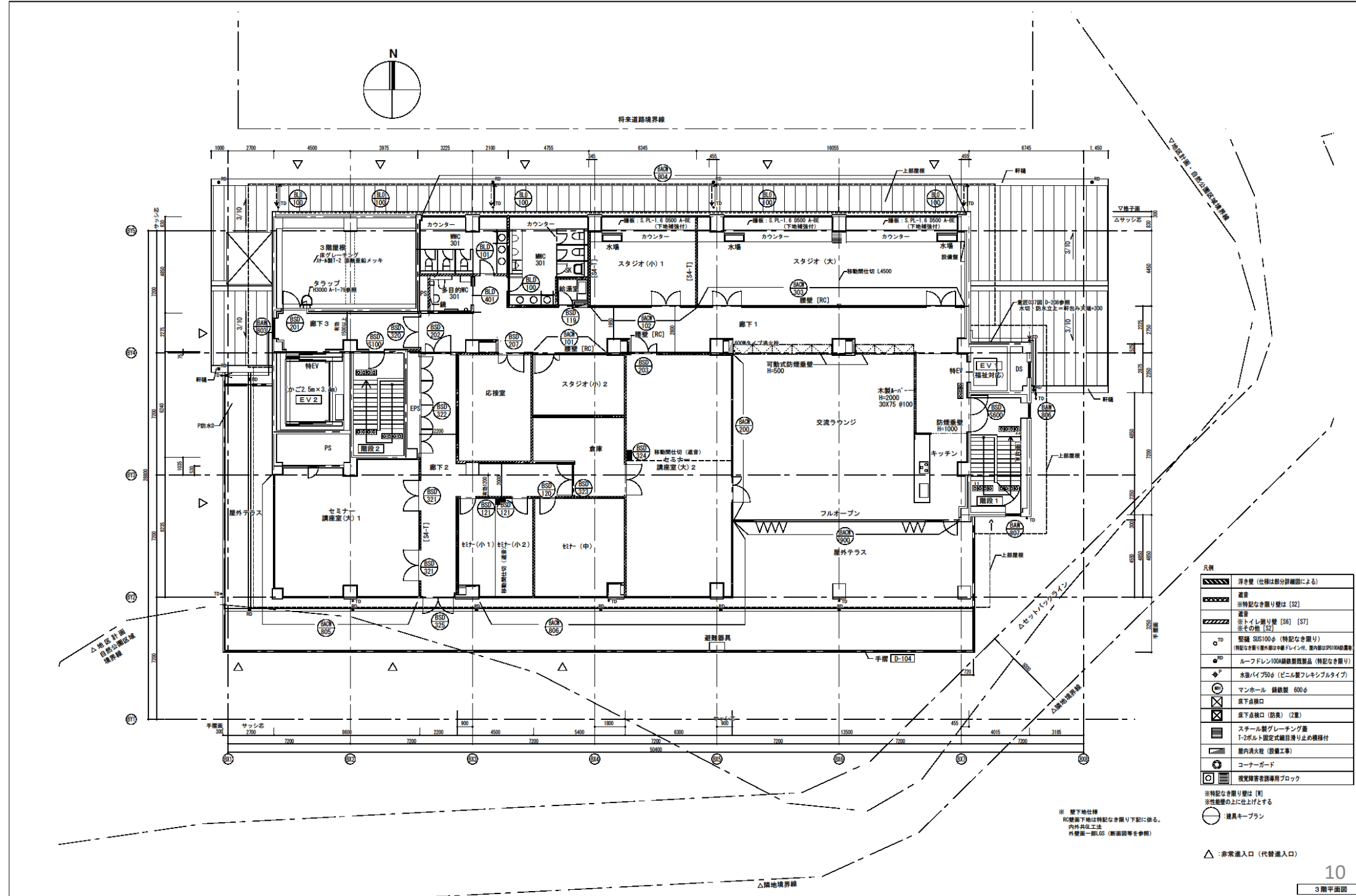
○ 器具ケーシング

■位置図・平面図 (5) 芸術文化体験棟 ②1階



■位置図・平面図 (5) 芸術文化体験棟 ③2階





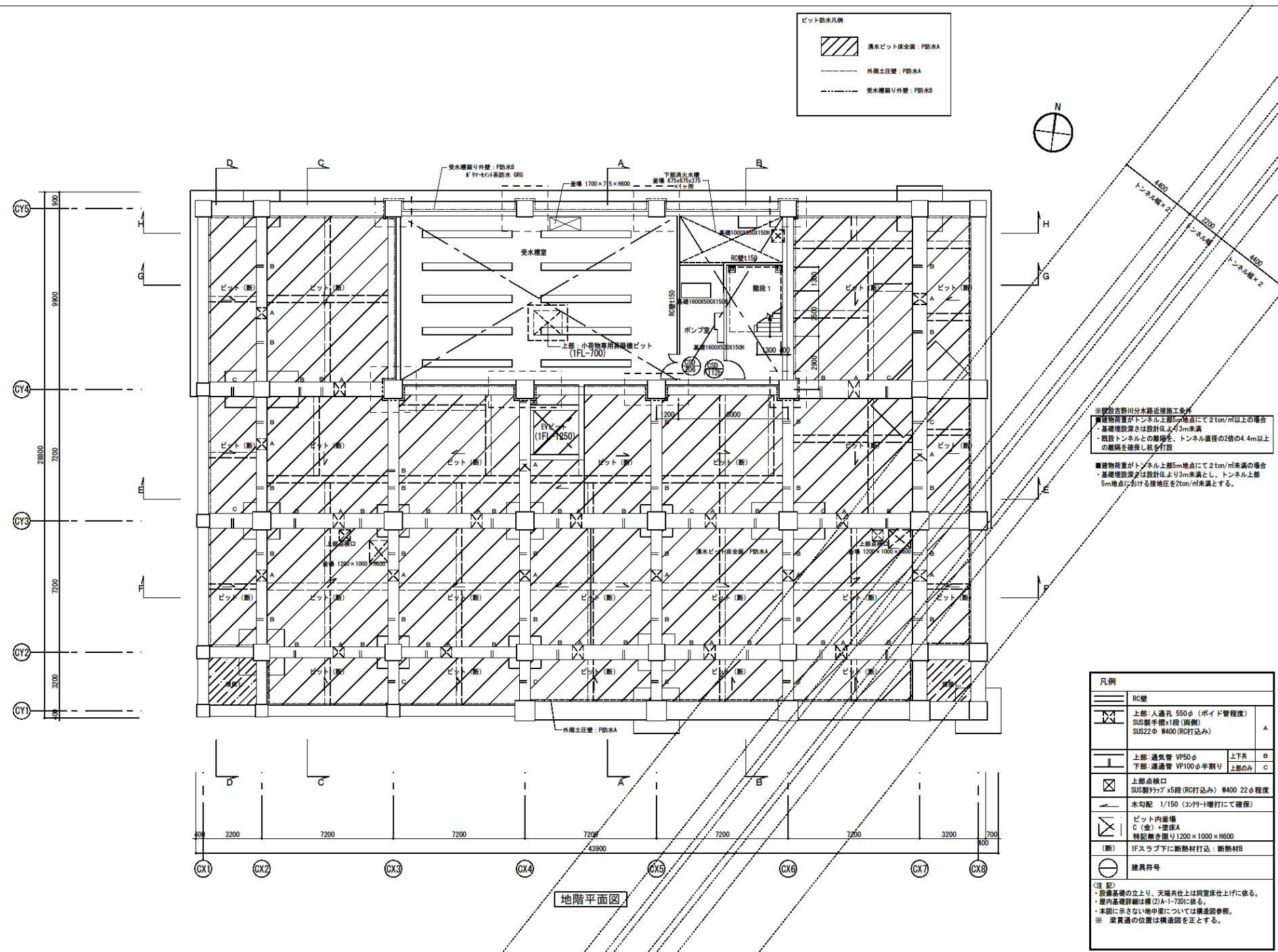
凡例

	可変壁 (仕様が部分詳細図による)
	遮音
	※特記なき限り壁は [S2]
	遮音
	※特記なき限り壁 [S6] [S7]
	※その他 [S2]
	壁断 SRS100φ (特記なき限り)
	(特記なき限り壁断は中継ドレン付、室内断はPR1000の書き)
	ルーフドレン100A線断壁断製品 (特記なき限り)
	水栓パイプ50φ (ビニル製フレキシブルタイプ)
	マンホール 鉄製 600φ
	床下点検口
	床下点検口 (防臭) (2重)
	スチール製グレーチング 1-2ボルト固定式組立滑り止め機構付
	屋内消火栓 (設置工事)
	コーナガード
	視覚障害者誘導用ブロック

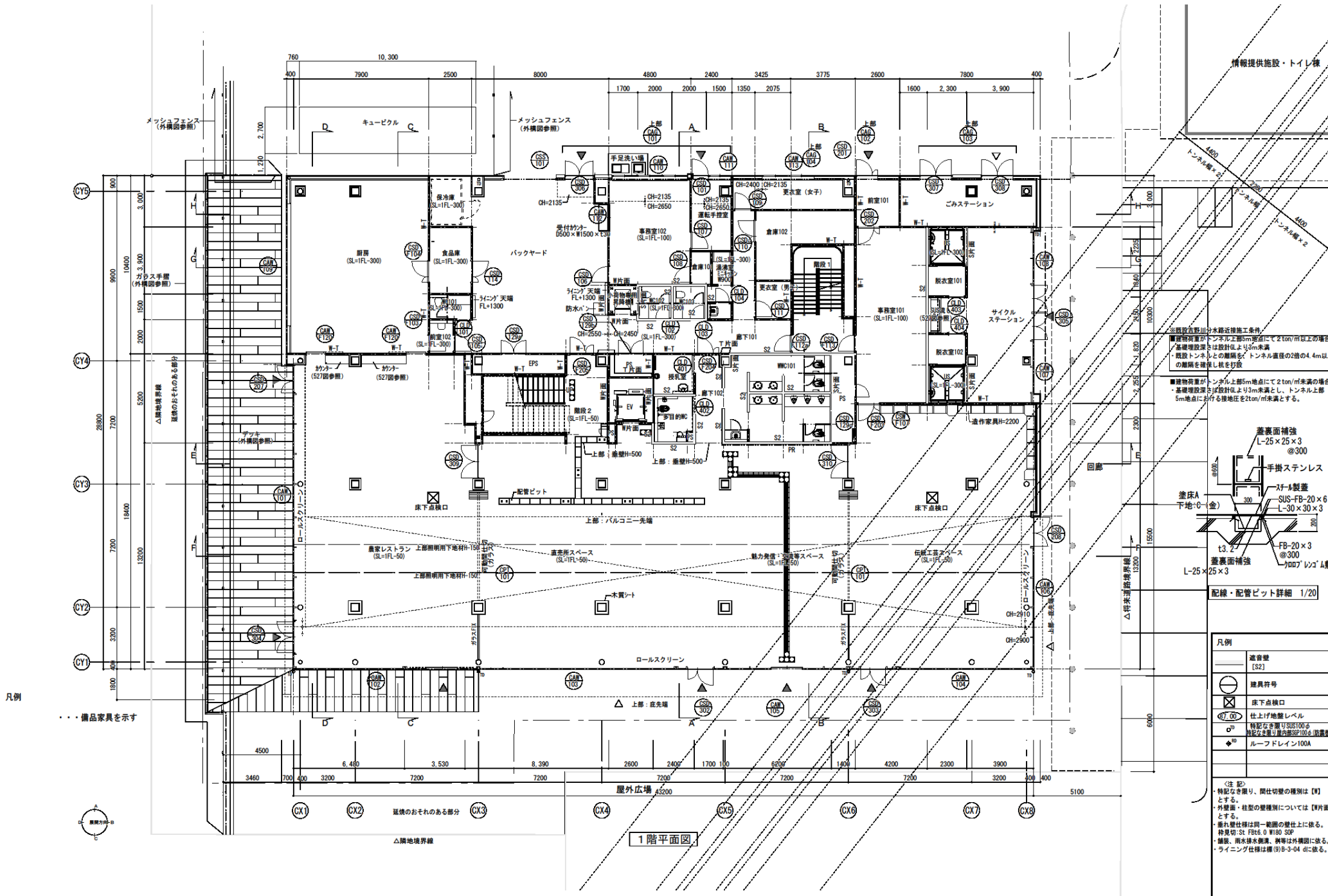
※特記なき限り壁は [R]
※性能値の上に仕上げる
○: 建具キープラン

△: 非常出入口 (代替出入口)

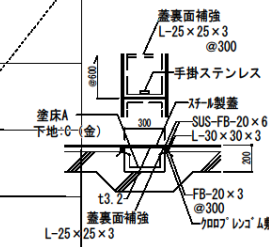
※ 壁下地仕様
R0壁面下地は特記なき限り下記に依る。
内外共に工法
外壁面一部LS (断面図等を参照)



■位置図・平面図 (6)交流にぎわい棟 ②1階



■建設現場より水漏れ防止工事条件
■基礎埋設部がトンネル上部5m以内の地点にて2ton/m以上の場合
基礎埋設部は設計より3m未満
・既設トンネルとの距離をトンネル直下の2倍の4.4m以上の距離を確保し杭を打設
■建物重量がトンネル上部5m以内の地点にて2ton/m未満の場合
・基礎埋設部が設計より3m未満とし、トンネル上部5m以内の地点に打設する杭圧を2ton/m未満とする。

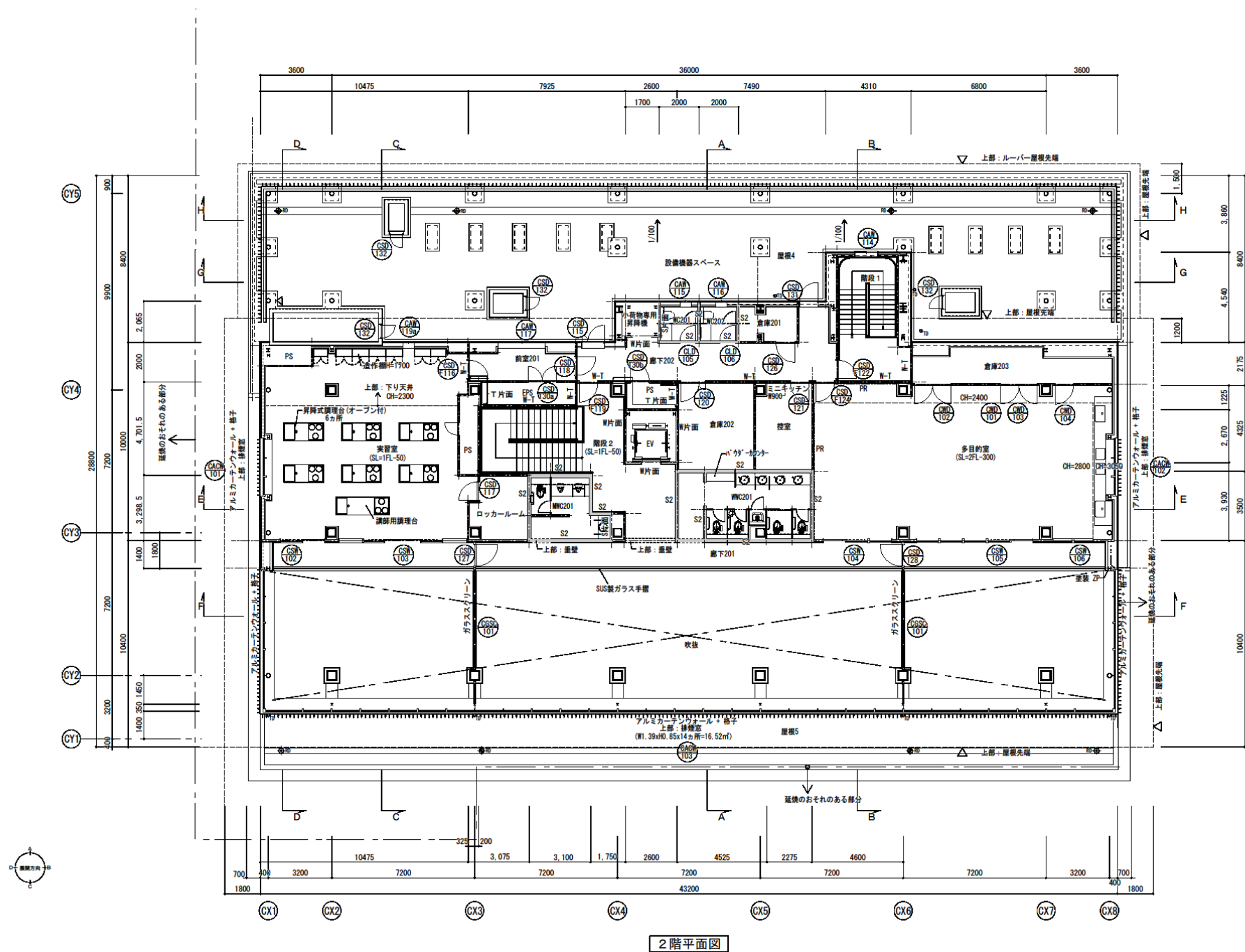


配線・配管ビット詳細 1/20

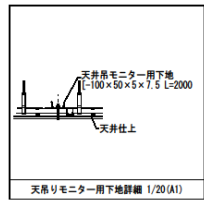
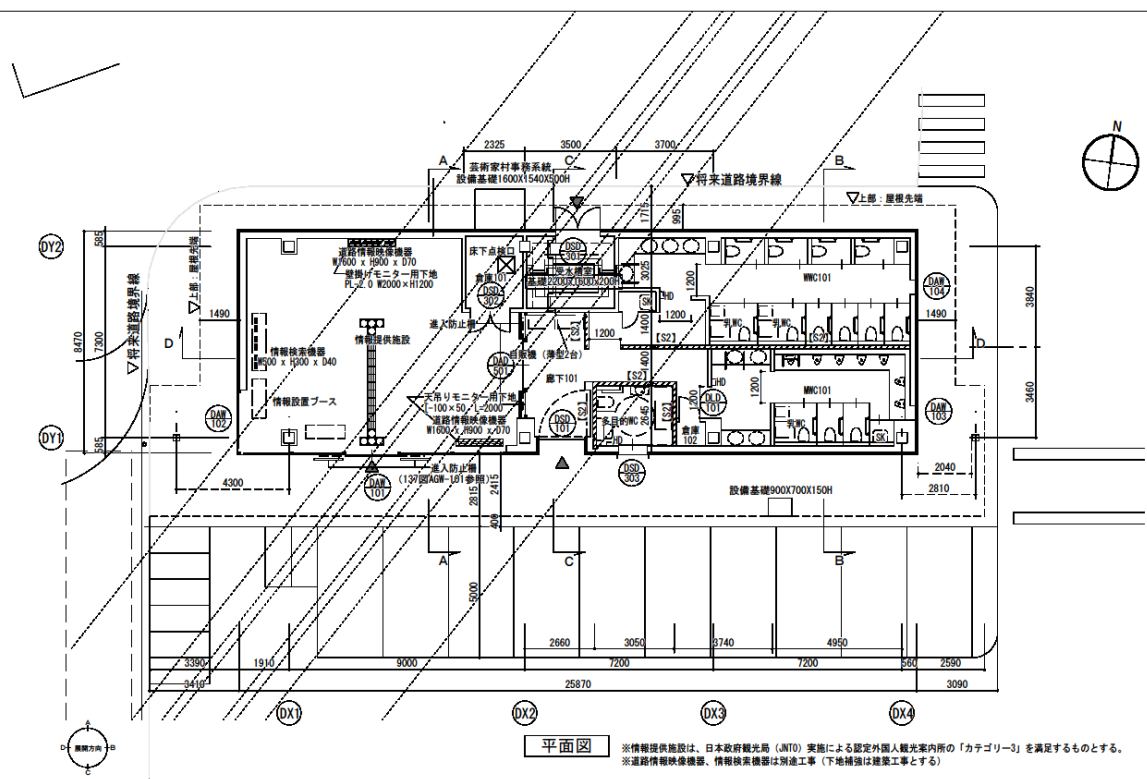
凡例
通気壁 [S2]
建具符号
床下点検口
仕上げ地盤レベル
特記なき限りSUS100の 特記なき限り内径SP100φ (防音壁)
ルーフトレイン100A

〔注 記〕
・特記なき限り、間仕切壁の種類は [W]
とする。
・外観面・柱型の壁種別については [W]面
とする。
・断熱仕様が同一範囲の壁仕上に依る。
特記切 St F06.0 W180 SOP
・断熱、雨水排水処理、換気等は外観面に依る。
・ライニング仕様は欄 (9)B-3-04 に依る。

■位置図・平面図 (6)交流にぎわい棟 ③2階

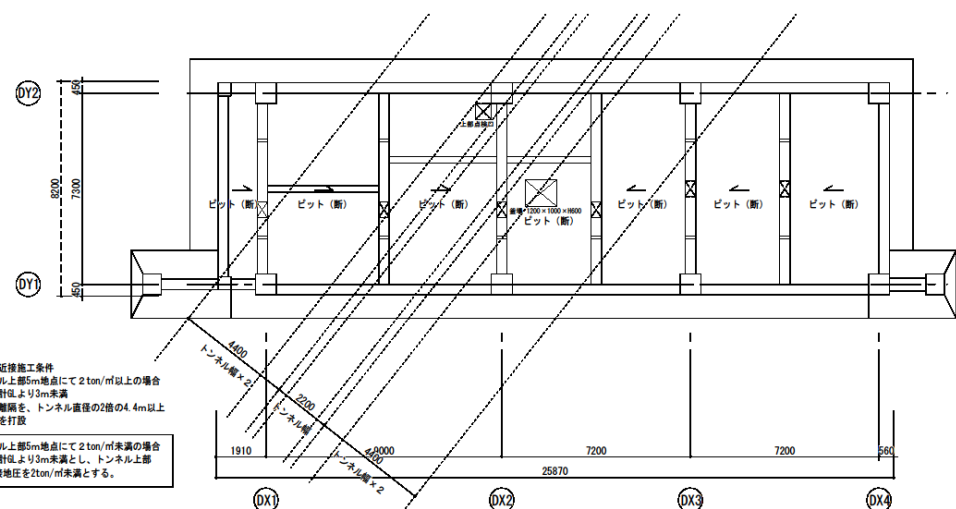


■位置図・平面図 (7)情報発信棟



凡例	
	遮音壁 【S2】
	器具符号
	床下点検口
	仕上げ地盤レベル
【注記】 ・特記なき限り、間仕切壁の種類は【W】とする。 ・外壁面・柱型の壁種別については【R片面】とする。 ・舗装、雨水排水側溝、樹等は外構図に依る。 ・機械基礎の立上り、天吊り共仕上は同床仕上に依る。 ・外部 設備基礎は外構図参照のこと。	

平面図 ※情報提供施設は、日本政府観光局（JNTO）実施による認定外国人観光案内所の「カテゴリ-3」を満足するものとする。
※道路情報検索機器、情報検索機器は別途工事（下地補強は建築工事とする）



※既設吉野川分水路近接施工条件
■建物質量がトンネル上部5m地点にて2 ton/m²以上の場合
・基礎埋設深さは設計値より3m未満
・既設トンネルとの離隔を、トンネル直後の2倍の4.4m以上の離隔を確保し杭を打設
■建物質量がトンネル上部5m地点にて2 ton/m²未満の場合
・基礎埋設深さは設計値より3m未満とし、トンネル上部5m地点における接地圧を2ton/m²未満とする。

ビット平面図

凡例	
	RC壁
	上部：人通り 550φ（ボイド管程度） SUS製手摺x1段（両側） SUS22φ W400（RC打込み）
	上部：通気管 VP50φ 下部：通気管 VP100φ半割り
	上部点検口 SUS製約7x5段（RC打込み）W400 22φ程度
	水勾配 1/150（コタート増打にて確保）
	ビット内面積 特記無き限り1200×1000×H600 F防炎A
	（断）IFスラブ下に断熱材打込：断熱材B

（参考）
※日本政府観光局（JNTO）実施による認定外国人観光案内所の「カテゴリ-3」水準内容と本工事区分
※ただし、水準にある項目として【施設・設備】について対応、他運営上による項目は除く。
①観光案内専用の対面式カウンター設置：別途
②客席まわりのスペースがある：建築工事
③インフォメーション等の情報提供ブース設置：別途
④職員用ネット接続PCの設置：別途（LAN：電気設備工事）
⑤インターネット接続PCが設置され、利用スペースがある：別途（LAN：電気設備工事）
⑥公衆無線LANの設置、案内所内での利用ができる：別途